

小学校英語教育の充実

尾上 利美 (和歌山大学教育学部)・中岡 正年 (和歌山大学教育学部附属小学校)
矢出 大介 (和歌山大学教育学部附属小学校)・瀧本 知香 (和歌山市立宮小学校)
林 真希 (和歌山市立和佐小学校)・中村 正雄 (和歌山市立貴志南小学校)
高橋 綾子 (和歌山市立貴志南小学校)・宮崎 文花 (和歌山市立四箇郷小学校)
三龍 直人 (高野町立高野山小学校)

1. 研究課題について

本研究課題は、教材や教具の活用と開発、外国語および外国語活動の授業づくりと指導方法、教科横断を意識した単元づくり、中学年以降で必修化されている英語学習へつなぐために低学年でどのような学びが可能であるか等の検討を通して、小学校英語教育をさらに充実させるための知見を得ることが目的である。

2. 本年度の取り組みについて

令和4年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に変更になり、基本的感染対策の実施やその方法についても個人等の判断に委ねられることになった。2020年度から2022年度にかけてのコロナ禍3年間の共同研究者間の交流は、メール等を介しての交流が主であったが、本年度は、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式によって共同研究者の情報交換会を持つことができ、また、令和5年度和歌山大学教育学部附属小学校研究発表会では、コロナ禍前のように研究授業参観と協議会が開催された。以下は主な取り組みの日時とその内容である。

8月22日(火) 13:00～ @和歌山大学教育学部 東3号館南205 & オンライン
キックオフミーティング・情報交換会

10月28日(土) 令和5年度和歌山大学教育学部附属小学校研究発表会

【研究授業Ⅰ (9:10～9:55)】

複式外国語5・6F「時間・空間をこえて繋がれ～和歌山とニュージャージー」(矢出先生)

【研究授業Ⅱ (10:10～10:55)】

外国語6C「Welcome to Japan! ～6C Operation Friend～」(中岡先生)

【協議会 (11:10～12:20)】

3. 本年度のまとめ

附属小学校で研究授業をしてくださった先生方の授業実践の詳細については、各先生が様々な形でまとめて下さっているのので、それらを参照いただくとして、研究代表者からは、キックオフミーティング・情報交換会で話題に上がった事柄を記し、まとめとしたい。

共同研究者の先生方は、担任あるいは専科として外国語および外国語活動の授業に実際に携わっておられたり、管理職、あるいは低学年の担任として、小学校の英語教育に関わって下さっていたりする。多くの先生方が共有されていることは、「子どもたちが楽しくより良く英語を学ぶためにできることは何か」を探求したいという思いと、その探求を進めるために、1) 外国語活動・外国語の授業を参観すること、2) 外国語活動・外国語科の公開授業や研究授業を行うこと、3) 外国語活動・外国語の授業や授業づくり、小学校英語教育について意見交換をすること、4) 研修等の機会が必要であるということである。

特に1)の外国語活動や外国語の授業を参観することは、授業づくりのアイデアを児童の反応と併せて見ることができることから、大変有益であると研究代表者も同意するところであるが、外国語活動や外国語の授業を参観することは、実は簡単ではない。和歌山市では、毎年10月および11月に和歌山市小学校教科等別研修会が開催され、多くの先生方が和歌山市内の各学校で行われる研究授業や協議会へ参加し研鑽をつまれている。以前は、和歌山市立城北小学校（本町小学校、雄湊小学校、伏虎中学校とともに統合され、和歌山市立伏虎義務教育学校として平成29年4月に開校）や和歌山市立東山東小学校で、外国語活動や外国語科の研究授業を参観することができたが、2023年度の教科等別研修会では、外国語活動や外国語の研究授業は設定されていない。今年度に教科等別研修会以外で、和歌山市内で小学校の外国語活動や外国語科の公開授業や研究授業を参観できるのは、次の日程で3校のみである。

- ・令和5年10月28日（土）令和5年度和歌山大学教育学部附属小学校研究発表会
研究授業数 2（複式5・6年生、6年生）
- ・令和5年11月11日（土）令和5年度和歌山市立伏虎義務教育学校実践研究発表会
研究授業数 1（5年生） 公開授業数 2（2年生、4年生）
- ・令和6年2月3日（土）令和5年度 第10回教育研究発表会 和歌山市立藤戸台小学校
公開授業数 5（3年生、5年生、6年生）

校内に閉じた形で行われる研究授業は、和歌山市内の他の学校で実施されているかもしれないが、上記のような外部に開かれた形で行われる公開授業・研究授業参観の機会は大変貴重である。しかし、いずれも土曜日の開催であり、様々な事情で参加することが難しい先生方もいるかと思われる。小学校の先生方の多忙な日々の中でも無理のない形で行える「授業参観」「授業公開」「意見交換」「研修」の仕組み作りをすることは、小学校英語教育を充実させるうえで非常に大切なことであると考えます。